

外来1グループ

部署の特徴

所属診療科：内科、糖尿病・内分泌代謝内科、
腎臓・リウマチ膠原病内科、呼吸器内科、
血液内科、消化器内科、循環器内科、
総合診療科・感染症内科、整形外科、
形成外科、放射線科・放射線治療科、
血管造影室、中央採血室、
内視鏡センター、外来処置センター、
入院センター

スタッフ：看護師・診療助手・看護補助者



患者さんおひとりおひとりに心をくばり、
限られた時間の中でスムーズに治療や検査、診療を受けることができるよう
医師や多職種と連携しています。

患者さんご家族が、安心して在宅で生活ができるように、
自己注射指導、疾病指導、生活指導など支援を行っています。



外来で行う検査・治療が増えていきます。

医師や多職種と協働し、

患者さんの不安や緊張が少しでも和らぎ、

安全・安楽に検査・治療が受けられるよう努めています。



外来②グループ

部署の特徴

診療科は、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、泌尿器科、脳神経内科、皮膚科、外科・胸部外科、脳神経外科、精神科があります。

外来②グループでは看護師、助産師以外にも診療助手、看護補助者、歯科衛生士、歯科技工士、視能訓練士、臨床心理士が協力して働いています。

子育てと両立しながら生き生きと働く若手スタッフから、看護実践経験だけでなく人生経験も豊富な頼もしいベテランスタッフまで幅広く、複数の診療科にわかれていますが、連携して患者さんの診療・治療を支えています。

誰か助けて～



予防接種

赤ちゃん元気ですよ～



助産師外来

普段は、各診療科に分かれて業務していますが、月1回の外来②グループ会で情報交換、勉強会を開催しています。

- *安全な医療・
看護の提供
- *心のこもった
看護サービス・接遇

に日々勤め、
がんばっています！



平均在院日数の短縮に伴って、医療ケアや介護問題を抱えて療養生活をしている患者さんや家族が増え、外来での在宅支援は必要不可欠です。

私たち外来看護師は、院内外のお職種と連携・協働して患者さん・家族を支えたいと思っています。

入院センター

部署の特徴

スタッフ構成：看護師、社会福祉士、事務職、薬剤師、管理栄養士など、多職種で構成されています。

入院センターでは患者さんが安心して入院することができるよう、入院および退院後の支援への早期介入を行っています。入院を予定している患者さんに入院のご案内を行うだけでなく、服薬状況、日常生活の問題点や入院に関する不安などを確認し、多職種で患者さんの支援に努めています。

入院センターでの基本的な対応

【 入院センター 】



外来受診時

外来で入院が決定したら



入院時書類の説明



入院オリエンテーション

薬の確認

不安な事など確認



入院当日

書類・薬を確認し

病棟へ案内



入院前から心配な事や不安が軽減できるように、患者様や家族から情報を確認し、病棟や外来に繋げられるよう、日々対応しています！！



外来処置センター

部署の特徴

令和4年2月より旧2病棟5階跡地を利用して新規に外来処置センターが開設されました。外来処置センターでは主に日帰り大腸内視鏡検査の検査前後の患者さんの観察・看護を行っています。

今まではいろいろな病棟で対応していましたが、一か所に集約することで効率的に検査の対応ができるようになりました。平均5~6人/日の検査を行っています。

今後は、外来の処置部門として、点滴や処置に対応できますように各科外来と連絡調整を進め患者さんにとってよりよい医療が提供できますよう役割を果たしていきます。

検査に対して不安を訴える患者さんに寄り添い、丁寧に対応することを心がけています。



検査オリエンテーションの様子



患者待機室

患者さんが安心して検査を受けられるように「笑顔・思いやり」を大切に看護しています。

